Vol 3 No, 464
(1) Thursday January 28 1909
Entered at Vancouver,B.C, P.O. as second class matter

The Continental News.

明治四十二年一月廿八日
第四百六十四號(本國日)
(加奈陀郵政部院政府認可)
舊暦小一月七日

大陸日報

時論

日本の對米政策

ルーミス氏の談論に就て

東京大博覽會の爲めに過般派遣せられたる米國委員長フランシス、ルーミス氏は、東京滯在中、現日本政府の內閣總理大臣桂侯及び外務大臣小村壽太郎はルーミス氏に對し、日米兩國間の紛爭問題に關する日本政府の立脚地と然して其の主要なる政策を告げたりと爲し去る二十四日華盛頓ふ於て某訪問記者に告げて曰く『余は東京滯在中親しく桂侯及小村伯と共に日米關係に就いて種々の談話を爲せるが小村外相が米國に對して有する同情の厚きは余の深く感動を與へられたる處、又た余の滿足ふ覺へたる處也、伯の主張は極めて明瞭に適切にして一點の疑念を挿む可きものなし』と說き小村外相の主張を傳へて曰く『日本は米國の思慮する如くふ等しく平和を愛するのみならず、米國に對しては不破不可侵の歷史的親交を欲しつゝあり、日本國民は寧來米國を目して單に日本の同情國としつゝあるのみならず以て信賴し、補助を受け得可き邦國と見做せり、而して日本政府に於ても他迄此意によつて米國との親密を繼續せん事を期しつゝあり』と更に一歩を進めて彼の移民問題に論及して日本政府のスタンドポイントを明かならしめて曰く『移民問題に關して小村伯の語りし處ふよれば日本政府は出來得る丈、米國政府の希望と日本政府の其れとを合致せしめんと勤めつゝありと、而して日本政府は韓國、臺灣、及滿州の各地に對して、移住の奬勵をなすと同時に米國渡航移民は全力を盡して制限政策を講じつゝあり又日本政府は年々歲々增殖する國民の移住ふ關しては海外發展の途を除くの外なしと信じ之を實行しつゝある次第なるが現に韓國移民の成績は極めて良好也、韓人以上の生產をなしつゝあり、日本政府は其確定の方針として自國民の增殖を成る可く東洋の諸地方に發展せしむる考にて東洋殖民の方針を實行する點に於て、政府は永く之れを變せざる筈なるも對外上の事は一國の政策通りにならざる事あり、然れども日本が他の外國權內に之を實行せず單に東洋地方に其主力を注がば、恐らくは今後他の邦國と此種の問題ふ就いて紛擾を醸すが如き事無かる可しと信ず』と更に小村外相の渡米移民の制限斷行を語り、米國との親交は決して此問題により害さるゝ事なし又米國は日本人を排斥するが如き事無かる可く、米國は他の外國人と同一の待遇を施す可しと云へり、此のルーミス氏が日本政府の移民政策として語る處、恐くば、眞ふ近きものならん、何となれば斯の如き穩當なる主張と然して退嬰的政策とは日本政府外交の特有性なれば也、若しルーミス氏の談話が小村外相の對米政策の眞相を傳へ得たりとせば何ぞ其れ保守的傾向を帶べるや、退嬰的傾向を帶べるの甚だしきや、無際限的の人口增殖を東洋の各地方に移住せしめんと欲するはよし然も米國渡航移民に全力を傾倒して禁止政策を斷行せんとすとは何の意味ぞや、米國の威喝的變沙に恐驚して絕對禁止を敢てせんとするに至ては、桂侯及小村伯の膽度豆より小なるを語らずや、更ふ吾人をして評せしめん乎、日本の同情國たるふ止まらず信賴一尊重しつゝある米國に於て排日的妄動の演せらるゝは、其も何の意ぞ、何の現象ぞや、日本政府當路者は斯の如き現象を視て、尙ほ米國の對外政策の正當なるを辯じ米國々民の行動を辯せんとするに至ては、愚も又た甚だしと云はざる可らず保守的傾向を帶べる對外政策により憐れ、五千萬同胞の前途を誤まらんとするものは彼等の腰拔外交官也、嗚在米在加拾有二萬同胞の將來を如何にせんとするぞ(松)

飛んだ虛報なり

小村外務大臣逝去の報傳へられたるに、吾人尠なからず驚駭して其の突然なるに不信を抱きたりしが果せる哉、東京二十六日の電報は其の虛報なるを傳へられたり、小村外相こそよい面の皮也。

移民入國の趨勢

オツタワ二十六日電報ふよれば昨年十二月に加奈陀に入國せる各國移民は四千九百六十人也、と然して其中二千九百〇八人は大平洋岸の各港より入國し、北米合衆國より入國せるもの二千八百六十二人也と更ふ昨年度に於ける總計數を見るに總數十四萬八千五百人ふして、內譯すれば北米合衆國より七萬五千一百二十四人にして大洋の各港より入國せるもの九萬七千五百七十六人なりと、斯の如く大數の移民が滔々乎として加奈陀に入國し來るに反、我が移民の入國數如何ぞや、彼我相比較する時ふ於て、吾人呆然として自失せざるを得ざる也。

加奈陀名僧の獸

加奈陀の總管長なる大僧正スウエートマン氏は二十五日午后一時半齡八十有一歲を以てトロント市に逝くと、嗚偉大なる靈的感化の數職に殉する多年遂に白玉樓中の人となる、吾人遙かに在天の魂靈を仰いで加奈陀國民と共に悲憂の感ふ堪へざる也。

救世軍の大活動

救世軍ふ於て最も高潔なる人格を抱ける人として有名なる救世軍事務官カドマン氏は本日晚香坡市に來着の筈なりと傳ふ、當地の救世軍は此のカドマン氏を擁して人道主義の爲めに大活動を試みんとすと、善哉々々、希くば罪多き衆世の爲めに靈的敎化と然して慰籍とを與へよ。

鐵道會社の動搖

グランド、トランク鐵道會社の總支配人モーゼ氏先に辭任して社內に多少の動搖を與へたるに今又た社長の退隱說は傳はれり即ち倫敦二十六日電報によれば社長サーチャーレス、リバースウイルソン氏は近く退隱す可しと、其原因に就ては未だ詳かならず雖、社內ふ何等かの急激動搖を起せるの結果に非ざる無き乎。

雜錄

艶物語(四)

青眼鏡

◎又た莫斯科には倶樂部と名稱く可き處が澤山ある、物は試し、一度と露國漫遊も出來難いと悟りを開いた青目鏡は日本公使館員某の案內を頼んだ、流石は外交家でよし引受た先ア付いて來給へと空嘯くのみ、其道にかけての古狸じやなとすぐ合点は出來た、

◎片鎌槍の光冴えて、置く霜冷かな寒月の夜道を、ゴム輪の馬車を飛ばせた、行くとクリムリン宮殿が都員證である、門扉は譯なくギーッと淋しい音と共に開いた、一留の銀貨は門番の手に渡されると頻りにスパシーボーと吐して居る御禮を申上るのだ、

◎壁に沿ふて左に曲ると入口がある呼鈴を鳴すと中から四十前後の女が出て來る、顏を見ると點頭いたが、然し僕を見て變な顏をして居るが都員の紹介とばかりで意氣寧ろ洋々乎と、ズーッと通ると內は電光燦爛だ、待合室たる可き小室ふ通入ると、先生僕ふ名刺を出せと云ふ。何だか解らないが三四枚掴み出すと、すぐ樣控へて居る女に手渡する。女は口の中で頻りとヤポーネツ、(日本人)と咳いてあちらの部屋ふ行つた、

◎玆に少しく倶樂部の內容に就て說明する必要がある。蓋し是巴里邊に組織されて居るものと畧同一のものであるから。慰勞の爲に巴里の貴婦人秘密結社の大要を擧げて自から露國の秘密倶樂部との相違を示し度いと思ふ。次號より此の巴里の秘密倶樂部の眞相を暴露して見よふ。

社會百面相 (六一) 晚香

此度出來る新聞の名は加奈陀日々新聞とか、陸氏及三宅博士等の遊ける東京日々の日々を取つた處蓋し振たもの也と云へば賞め過ぎたり發刊早々入身攻擊で持切りと來れば尙更ふ珍の妙なものじや、擧竟人身攻擊の具ふ供せんが爲めの發刊だと聞けり、讀者や廣告主こそよい面の皮也、

歌壇

春夫

冷やけき頬を傳ふべくふさはざる若き涙のたまたまに落つ
忘らるゝ日をし思ひて歡樂の中に泣くなり戀まさる哉
君を見て嬉しとなせし往し日の悲かさに似て今日もあるなれ
あはれ君十六と云ふ名を愛でゝ明日を恐れぬ年超ゆる夜
われ寂しくと云ひて自らを否みえぬ日の寒きこゝろよ
いと遙やる心鎭めて後の日を慮るに戀に長けゝれ
惜きこと云はれける日を幸ひ歡ふるまでふ哀へてけり

本社募集の

好なもの嫌なもの

ステブストン球戲店 林忠次郎君

好なもの

一、德川十五代史の中の小姓與五衛門の傳記樣の者
二、鮎の魚軒
三、長唄と清元

嫌なもの

一、道德の罪人
二、敗者いじめ
三、借金取り

の城門は五百年前韃靼人を擊退した功績を誇り顏に聳えて居る、行く手には色彩燦然たる寺院が見える、之こそは彼のイワン烈王が命じ給へる遺跡ふて、其前の石疊の廣場こそ、腥氣長へに霽れず、怨魂久しく結んで解けざる斬頭臺であると說明された、

◎何時しか、ポリシャーヤ、リユビヤンカ街ふ出た、馬車は口笛と共にハタと駐まつた、見上る如き鐵門は堅く閉してある、案內者は口笛を一聲又た二聲、符調だなとは早速合点は出來た、すると中から覗く男の顏が見える、例の黑羊の帽子を眉深に冠むつて、厚く毛皮の外套を着て居るが、如何にも眠む相な樣子、例の外交官は內隱を搜つて一枚のカードを出す、之

THE NIPPON TRUST COMPANY, LIMITED
362 Powell St., Vancouver, B. C.

一般銀行業務
▲テーラー金庫販賣代理店
▲ドミニオン火災保險會社代理店
月賦拂金五弗以上の相談に應じ可申候
家屋家財何品なりとも火災保險の御依賴ふ應ず
晚香坡パウエル街三六二番地 電話 五一七 二二七二
日本信托株式會社

(各種預金 利息は高し)
(各地送金取立 敏速にして確實なり)
貸付割引 利息は安し

商事受托 鱒鮭 米穀 鹽鮭 麥粉 俵托販賣 木材賣附 加奈太バンクーバー市パウエル街 取締役 田村新吉
The Japan & Canada Trust Savings Co 332 Powell Street, Vancouver B.C. Phone 132 P.O. Box 150

日加合同貯蓄株式會社
銀行事務
執務時間 午前九時ヨリ午後六時迄 土曜日午後九時迄
日本送金 當座預金 貸附 割替 定期預金 荷爲替 貯金 チェック引換

THE CANADIAN NIPPON SUPPLY CO. LTD
PHONE 839 VANCOUVER, B. C. P. O. BOX 736

大至急人夫募集
◎シーピーアール鐵道
ギヤング
セキション
一百人
日給一弗廿五仙以上(時間增あり)
右至急募集す
御望の御方は大至急御申込あれ
晚香坡市ペンダー街九百四十四番地
日加用達株式會社
申込所
晚香坡市パウエル街三百六十番地
同支社

電報

◎六百万弗の炭港
（廿七日クーブタウン發）

獨逸人が巧妙なる經濟手段を以てダクゴア灣を手ゐ入れ之を支配するゐ至るやも知れずとの形跡益々募り居れりと南阿ゐ於ける英國政治家の首領株は言へり同灣は南阿弗利加に於ての軍港並びに商港として有數のものなり獨逸の代表者が同灣買収の秘密取引を葡萄牙官憲に直接申込みたりとの好個の實証は當地ゐあり當地にて知らるゝ所ゐ由れば獨逸の財務家は同灣並びゐトランスバール國境までの鐵道を手に入れて葡萄牙に對し六百二十五万弗の債券を發行せしむべしと云ふにあり獨逸は久しく南阿屬國ゐ關して紛擾を事め居り此に鐵道を占有することは便宜此上なきなり猶又た同灣は獨逸にとりて好個の軍港ゐして英國屬領の所謂聯合によりて英國の享受する利益を抑制するを得べし當地に於ける爲政家連は個人として倫敦に向け申告するところありしも無效に歸したり南阿諸州の立法部は此件ゐ就て討究し母國政府の注意を喚起するならんと思はる

◎鐵道局再設
（廿七日ウラル發）

政府は鐵道局を再設し數區に分ちて各々事務長官を置くべき旨發表したりウンタリワはポート、アーサー及び其以西を除きて副事務官ダーシー、スコットの管轄に委ぬ檢査官ワヤルヴイー及びクラークを補佐すべし次ゐクベック方面はエム、イー、バーニアを之に任じマニトバ及びサスカチエワンは之にワンタリワ州ポート、アーサー以西を加へて事務官エス、ヂエーマクリーン之を管轄し檢査官としてはウイニペッグのダブルユー、エス、ブライス之に任ずべし而してビー、シー州に在りては事務官としてドクター、ミル檢査官としてエム、ヂエー、マッコル之に任ずべし

◎新支配人ご工事
（廿七日セントリワル發）

グランド、トランク鐵道會社新總支配人チャムバレン氏は今朝本社に出でゝ執務したり彼は曰く敷設工事は依然敢然いで進捗せしむべく又た予が就任は迅速なりしを以て工事ゐ何等の支障をも來さゞりしならんと猶彼が就任は總ての方面ゐ一驚を喫せしめしが思惑は悪しからず彼は同鐵道部内にも多數の知人を有し居れるなり

◎列車遭難
（廿七日シャイエン發）

昨日午后當地を距る西方十五哩ダナゐ於てユニワン、パシフイック鐵道のワレゴン列車遭難し九人の負傷者は本日當地に輸送されたりアイワワ州ダンベリーの女エマ、クリンヂンバルは不幸慘死したり遭難の原因は線路の破損にあ車臺五つは溝中に墜落し他の四臺は脱線したり

◎鑛夫の生埋
（廿七日クランブルック發）

昨夜遅くモリゼー鑛より到達したる報知によれば同所に爆發ありて二十人の鑛夫生埋に會しが左したる負傷もなくして救出すを得たり椿事の原因に就ては未だ判明せず

日本近信

◎新年御宴

天皇陛下には豫て仰出されたる如く今月五日正午皇太子殿下並ゐ各皇族殿下を始め内外臣僚を豐明殿ゐ召され新年宴會を催させられたり今其御模樣を承るに皇太子殿下並に伏見宮貞愛親王、有栖川宮威仁親王、閑院宮載仁親王、東伏見宮依仁親王、朝香宮鳩彦親王、東久邇宮稔彦王、北白川宮成久王、竹田宮恒久王各殿下には午前十一時頃より相前後して御參内兩陛下に御對顔あらせられ正午天皇陛下には戸田式部長官の御先導に依り皇太子殿下を始め各皇族方並びに德大寺侍從長、田中宮相、中村侍從武官長、鷹司、西園寺侍從武官、米田、東園、北條各侍從其他を從へさせ給ひ豐明殿に出御遊御の際南北東溜間に整列せる伯子男爵有位華族及び宮内省奏任官等に拜謁仰付らる參列の各國大使、公使及び親任官、勅任官其他の最敬禮を受けさせ給ひつゝ玉座に着御玉音朗らかゐ左の勅語を賜はりたり

勅語

新年の佳辰に當り各國代表者並に諸大臣等と祝宴を開き歡を共にするは朕の滿足する所なり茲に友邦代表者の君主及び大統領の健康を祝し併せて交際の益々親密ならんことを望む

戸田式部長官英譯して各國使臣に傳へ桂首相は臣僚を代表して恭しく左の意味を奉答せり

茲に新年の佳辰に方り群臣を召し優渥なる勅語を下し輔宴を賜ふ臣等感激の至りに堪へず臣太郎群臣に代り恭しく聖恩の厚きを謝し謹んで聖壽無窮を祈奉る

次に英國特命全權大使サー、クロード、マクドナルド氏は本邦駐劄各國使臣の首席として一同を代表し左の意味を奉答せり

新年の御宴ゐ當り外交官一同寵宴を蒙り且優渥なる勅語を賜ふ實に感激措く能はざる所にして惟ふに臣等の君主及び大統領は各々親善の交誼を增進し誠意以て陛下の叡旨に酬ひんと期せらるべきを信ず茲に恭しく聖壽の無窮を祝し貴皇室の隆昌を祈り併せて貴國臣民の安寧福祉を冀ふ

戸田式部長官之を邦語に譯して奏上したるに陛下ゐは御嘉納あらせられ軈て御開宴親しく玉盞を傾けさせられ各殿下、各國使臣、各大臣に對し優渥なる御諚を賜はり午後零時三十五分入御あらせられたり

御開宴中は式部職、樂長樂師樂手等絶わず歐洲樂並ゐ薫天樂、歡善樂を奏して御興を添へ又伯子男爵有位華族には東溜間にたいて宮内省奏任官には同省會議室にたいて在京奏任官には各官廳にて夫々酒饌を賜りたり又當日陛下には大元帥の御正裝に大勳位菊花大綬章、同頸飾章、功一級金鵄勳章、勳一等瑞寶章其他各種勳章記章を佩ばせ給ひ龍顔殊の外麗はしく拜せられ陪宴者は各殿下を始め松方、德大寺、桂、東郷各大勳位、伊東元帥、田中宮相寺内陸相、齋藤海相、小村外相、平田内相、大浦農相、小松原文相、岡部法相、土方、芳川、板垣、山本各大臣待遇奥、西、小川、大嶋、各大將以下親任官同待遇公爵、從二位、勳一等、一等官、侯爵、從二位、二等官、麝香間祗候、金鵄間祗候、勅任官、同待遇、貴、衆兩院議長並に各國大使公使等四百五十六名なりき

尋人廣告

神明安治（高知縣高知市幾人町）

右の者の住所御存の御方は左記迄御通知被下度候

加州桑港サター街一八二三

村上芳藏

1813 Sutter St, San Francisco, Cal.

福井縣人に告ぐ

來る二月十三日（土曜）午后七時半より當市アレキサンダー街三二〇佛教會場に於て本會の總會を兼ね發會式開會致度候に付會員諸兄振つて御來會被下度此段廣告す尚未申込者は此際至急アレキサンダー街三百二十番地本會事務所宛至急御申込被下度候

廿一月廿八日　福井縣人會

加奈陀日本人同志倶樂部寄附金報告

田村商店　日加合同貯蓄銀行

金五拾弗　金四拾弗　中田松　中本竹　山洋松　永訊四郎　崎服店　是商會　山鎌吉　青木郎　堀田五　日本工事　佐藤米　田鍋會　古屋茂　大屋支　紀藤次　森宮廳　日林國　關林次　日田平　佐藤市　古屋社　大野治　紀崎館　森宮寄　日進會　關合館　日野資　稻田治　日加藤社　同根興　前同業　同根五　同加郎　同前郎　同ポ　同ポ　同ポ

氣焔

在カンサス市　孤兒

一度青山白水の望を抱へて渺々たる大洋を越ね、遠く北米の客となりし以上は徒らに一時の困苦ふ泣く勿れ、かく安き涙ぶ非らず、未來の大成を期して大ふ今日の境遇ふ鞭うつべし、進むべし、言語能く通せず、充分風俗に馴れずと雖ども我々は東洋の一嶋に生れ呱々の聲をあげたる旭日的大和民族の一塊である、失望落膽すべきの小國民に非ず奮戰又奮戰、勝利又勝利、万歳又万歳を唱ふるの大國民なり。

體幹矮小ふして風采あからず、領士狹小ふして常に貧窟を處理し、人口不相ふ繁殖、領外にあふれて排斥の聲を耳にすと雖ども それに驚怖して縮身するの舅黨に非ず猛進又猛進を續けて海外ふ第二の新日本を築造するの大國民なり。意志薄弱にして容易に獨行し難き凡介者は速かに來りて我黨の感化と指導を待つべし孤兒筋肉衰へ、見骸骨の感ありと雖ども貧苦と戰つて日夜斯學の爲焦慮せるの一兒寂寞無聊の感に襲撃せらるゝ時は『男子立志……』を三唱すべし斯くして胸中何等の反省を促さゝる前期の輩は宜しく石角に頭を自ら打ちて死すべし、孤兒は斯くの如き腐民の死別に對して何等の慰傷を感せざる也、寧ろ他を誘惑するの憂減少せられしを喜ぶものなり孤兒は鵬程七千哩の一市に懷中一厘の餘融なく常に貧乏神に追ひたてられ居ると雖ども心を慰ひるに書籍あり、語るに思想を同ふせる無二の友、大陸日報あり、若し孤兒の友たらんと欲する者は赤心を以て來れ孤兒亦赤心を以て迎へん徒らに米國表面的惡慣を學はずして東洋の美風を紹介すべし、善行は大に學んで又他に教化すべし、白人と遠ざかるの惡弊を捨て近ふて握手すべし、同化すべし、相互に美點を學んで向上すべし、發展すべし。

孤兒はパンとバターのために朝に星を戴きて出で夕ふ月を踏んで歸る、從つて長談するの時なし、再び語るの時を俟つ。

◎米國自殺倶樂部

米國には種々の倶樂部ある中にも紐育に獨身倶樂部と云ふ者があつて一生獨身で暮すと云ふを精神にして居る未婚の婦人迚は之を聞き男子の數が女子に較べて少ない米國に其男子迚が一生妻を持たぬなんといふ倶樂部が出來ては我々に取つて心細い譯だ之れを打破せずんばあるべからずと妙な所から理屈を付け窃かに之が破滅の作戰計畫として倶樂部員に向ひ盛んに秋波を送り始めた處が倶樂部員の雖彼れが漸く婦人迚の虜になりかゝつたので倶樂部員は『退却』と決議し他へ移轉したと云ふ話がある、が恰度其と同時に紐育から程遠からぬブリッチポートといふ小さな町に自殺倶樂部といふのがあると聞えた尤もこの倶樂部は廿五年前に出來たもので其時の話が面白いブリッチポートの風雨雷電劇しき夜居酒屋に集つたものが十三名新聞記者もあれば飾屋もあり郵便脚夫、脚本家、學生、質屋の番頭、等中々毛色の異つた者許りだ新聞記者レプンウオルス氏は徐ろに口を開いて曰ふ『今夕は斯る天氣で我々は丸で牢にでも打込まれた有樣だが幸ひ僕は今日面白い記事を巴里で發行するンヒガロと云ふ新聞で見たそれは外でも無い自殺倶樂部で丁度之に其規則が掲げてある』と之を譯して聞かせて云ふ『諸君吾々は今此處でこのやうな倶樂部を組織しては如何でせう第一にピーヤスと云ふ人が『大賛成』だと答へるついで他の連中も賛成した其夜は酒店を替へて一夜飲み明し翌日ワグナー、サルーンで右の人々が自殺倶樂部を組織したと云ふ風說をばつと擴げた固よりそんな馬鹿らしい事を信ずるものも無く唯戯談許りに思ふて居たが當時其倶樂部の書記の話に年々自殺すべき人は其年の宴會に籤引をし白紙ふ赤インキの付いたのを取たものは十二ヶ月以内に自殺すべき定であるとのことであつた其後二三回新聞紙に同樣の記事が見わたが世人は何之を戯談として信じなかつた。所が三四年の後に會員のハイスチルバーゲン氏は鐵砲服で死し千八百八十七年ふ居酒屋のケンデーと云がピストルを口に當て一發で死だ千八百八十八年四月には醫家が縊死し千八百八十九年に倶樂部の發起人であつた新聞記者が毒を飲んで死出の旅立をした其翌年二月には郵便脚夫が喉を切り放して死に千八百九十年四月には倶樂部の書記が紐育の或ホテルで自殺し九十一年には大工が溺死し同じ年ふ詩人のピーヤス氏はシーサイド公園で自殺を企てたが見附かつて目的を達しなかつたそして四年の後に再び自殺を企てたが此時も不成効ふ終つて今はミシガン市で餘生を送つて居る千八百九十五年にはヘザートと云ふ學生がブリッチポートの郵便局の入口でピストルで一發、其後四五年を經て千九百四年居酒屋のワグナーが紐育のホテルで頭へ一發を送つて死んだ斯くて十三名の内で死んだものは十一人幹事は生き殘つて記錄を後の世に傳へる筈であると云ふ事

◎理髮床
◎西洋風呂
◎御旅館
ビクトリヤ市ガバメント町一七二四
本田甚五郎

▲新荷到着▼
◎上等さといも
◎ごぼう
◎干かます
右澤山到着致候に付當分大安賣仕候
バウエル街二一四
高原金五郎
（電話一六〇〇）

和洋雜貨食料品
ゴキスプレス
晩香坂市バウエル街四五
電話三五七
郵函四三二
堀善商店

M. Furuya Co.
Phone 1811　P. O. Box 934
46 Hastings St., W.　Vancouver, B. C.
雜貨食料品
直輸出入卸小賣
古屋商店
バンクーバー支店
器械搗純良精米（西ヘスチング街四六　電話九三四）

リープス氏主筆
月刊マガジン
本紙は日米好誼の親密日米貿易の發展せんことを期す新年號には西北部及ビーシー州地方ふ在住せる日本人發展の狀態を紹介す
購讀料一部廿五仙　年二弗
發行所　東洋雜誌社
878 Eddy St. S. F.
7th E 168 St. New York
The Oriental Magazine Co.

女洋服裁縫專門
バウエル街三三二石川旅館内
鈴木定吉

運送業開業
迅速着實
郵函二三二
バウエル街二二九
東洋運送會社内
電話二五五八　二七二二

讓受廣告
橋本青物店を譲受け青物を廉價を以て及び生魚類を
少生機今回元
バウエル街二五三
田中六彌
（電話ピー四〇六四）

J. KORENAGA
15 Cordova St., E. Vancouver, B. C.
直輸出入
委托販賣
各食料品
晩香坂市東カドバ街一五
商　是永壽吉
（郵函六二九）
（電話二八四八　二五九二（自宅））

醫學得業士
丹羽信一
晩市バウエル街二七〇
谷口旅館内
（電話二〇六七）

時計販賣
晩香坂市バウエル街三百〇番地
松林時計店

バウエル街二三七番地
◎ときは床
◎ときは湯

御料理開業
今般左記の處ふ料理店相始め申候間賜々敷御光來の程待入候
アレキサンダー街二〇國民學校前
電話三四五五
ほとゝぎす
晩香坂ベンダ街八一五クラウン館第二〇七・二〇八號室
探偵社
本都主任
アーサルバロン
（電話ピー三〇二九）
如何なる事件たりとも御依頼の上は固く秘密を守りて迅速機敏に取扱ひ依頼者の目的を達せしむることは從來の經驗に徴して世間の信用を博したる所に有之候

開業廣告
牛肉ぶた
やさい
大安賣御注文次第迅速に御届け可申候
バウエル街三四〇
西田肉店

諸件代書
晩市バウエル街二二九エー
電話二五五八
二一六〇
郵函二一〇
淺野五明
事務所

雜貨一切取扱
アムストロンスター
グレヤッヤ
雜貨社
Cor. Powell St. Westminster Ave.
Phone 1590 Vancouver B. C.

洋酒及日本酒
卸し小賣り
ウエストミンスター街とバウエル角電話三八九六
アーサユハート

御進物用切手調製
住り慣間不拘御用仰付下されば度候
バウエル街四三七
郵函五七五
鈴木商店

特別大勉強
あめ菓子製造
和洋雜貨食料品切販賣
晩市バウエル街五六八
電話エー四二八一
鳴瀬商店

▼關根旅館
弊館は室内器物清潔御取扱ひ最も町柳に山座候
バウエル街二五五
主人　關根勇五郎
（電話ピー二八五郵函六一〇）
SEKINE HOTEL
335 Powell St.
Phone B 2185 P. O. Box 610
Vancouver, B. C.

開業廣告
今般左記の所にて洗濯業を相始め候間町柳を以て勉強致し機敏迅速御用仰付下されば度奉願上候
東ヘスチング街九五六
日の出洗濯所
高橋金次
（電話二三五三　二七二）

▲硝子サイン
▲電氣燒附け
日本字英字共に御需に可應候
カムビー町三三九
エドワヅ
サイン商會
EDWARDS SIGN Co
Phone A 3216　329 Cambie st
(Basement of trade)　Vancouver

●●●●●●●●
◎菊正宗（一箱四打入十四弗）
◎ワイン
◎シガー
御注文次第早速御届け可申候
西カドバ街五十四番地
ウイリアム
アキユハート
●●●●●●●●

日本雜信

防長便り（二百五十五）

常盤通信員報

▲漁船の遭難　大島郡沖家室村古谷元吉、同人弟辰治郎及び庶人磯村虎吉、若本龜吉の四名は十二月廿二日午前六時頃豐岐國勝本を出帆して對馬近海に出漁せしが九時頃より降雨となり風さへ吹き起らんとするより勝本ふ引返して避難したる時雨は益々强く西南風は怒濤を捲ひて襲來し漁船は忽ち水船となれるより四人の乘組は必死となりて其水夫を爲しつゝありしも何分夢る水よりは打込む潮水の多きに一同も殆んど根氣盡き元吉は已に死を決して船内に坐はり込み弟の辰治郎ふ向ひ寶板を以て打ち殺して呉れい最早苦しくて堪らぬと云ひしを辰治郎はそんな氣弱な事にては行かぬ其中救助船も來たると勵ましたるも元吉は敵度に來たる波濤を被ぶりて其儘息絶ゆると同時ふ船は錨綱を切らして沖合に吹き流され辰治郎も今は起れまでなりと兄元吉の死体を船体に縛り付け一同と共に助かるまではと一生懸命に防波を爲しつゝある處へ越へて廿三日の午後一時頃一至りて香川縣本田郡庵治村の水口龜太郎及び三男庄太郎外三人乘組の漁船がサザーを積み豐岐より豐前へ廻航せんと通り掛りて此の遭難を認め遭難者の方よりも寶板を揚げ聲を限りに救助を叫ぶより辛うじて此船に近寄り帆綱を投げて一同を救助したるも元吉の死体は引上ぐる能はず船体は其儘にして三人の者を乘せ廿四日の朝下關へ入港し水上警察署へ事の次第を届け出で尚ほ船体に殘し置きたる元吉の屍体は阿武郡近海ふ漂着せんも計り難ければ取調べ方届出しと

▲青年會と處女會の發會式　佐波郡浦村長谷崎介同村立小學校長伊藤俊輔の兩氏發起となり風紀矯正の目的を以て青年會及び處女會を組織したるが十二月二十四日青年會發會式及び處女會發會式を擧行せり

▲小島巡査部長の船長拜命　下關水上警察署詰巡査部長小島氏は廿四日願に依り巡査を免せられ同署小形汽船弥助丸船長を命せられ月俸三十圓を給せらる

▲此程開業した某旗亭の姐さんゐ毛生液一ビン同情の余り進呈す（湯戻り生）▲紙屑籠の茶目さんちよつと聞てたくれ例の變節記者ねー毎晩妾の所へ來て變な目附をするので妾はあなたの樣ゐ金で身体を賣りませんと言つてやつたら大變怒つて歸りました本當に厭な奴ねー早く死んで呉れゝば好いと思つてよ（赤枝坊）▲下宿屋の補君飯粒で鯛を釣られて世間の物笑ひになる樣な事は實に明なる補君には ヨモヤ有るまいと思はれるが特ゐ此際注意し玉へ（老婆生）▲隨分此頃の晩香坡も物騷になつて來たが雨降つて地固まるだ一艘關特上つた方が却つて同胞の基礎が固まるかも知れぬサテ明日の雲行は什うやら險しいぞ（天文學者）▲初ちやん此次のサンデーふ公園を散歩する約束を固く結んだのは誰だつたツけなー（壁一重生）▲見るもの聞くもの癪に觸つて堪らぬと頭痛鉢卷で寢て居ると借金の催促で搖り起されてテク〳〵青ざめた顔をぶら下げバウエル街を東する人がタツタ一人ある、（菩矢生）▲大陸紙の正義の筆に依つてあはや胡麻化されて了んとしたる金を取戻し得て陰で泣いて喊鬨して居るものが僕の知つて居る分のみでも七人ある（叫月生）▲磯に言ふ屁と火事は元から驅ぐと宜ならずや頃日神州男子君の男子的ならざる事の甚だしき君先づ獅子奮迅の勇を皷して晩市暗黑面を曝露せざる一体大陸の投書家諸氏は氣氣地がなさ過ぎるぞ（村夫子）▲燒いて勉にしてさゝで飲んだりすると肺病が傳染るぞ禁枝（注告生）▲寡長屋の菊石婆は方々で近所のものゝ悪口を稼かすがた前は日本で何をして居つたのが忘れやがつたかい忘れたのなら教へてやるぞ（喧嘩坊）▲覆面郎君昨日はウムと材料を返つて下すつて難有うボツ〳〵出して行ます（係り）

◎石炭販賣
晩市バウエル町三六〇
東洋運送社
電話三九七

日本郵船會社
◎廣濱
◎神戸
行切符販賣
（ヴヰクトリヤ行切符付）
金四拾壹弗
日本郵船會社船は何れも船室は清潔で食事美味、待遇の懇切なるは決して他會社船の比でありません
土佐丸三月廿三日出帆
晩香坡宿屋組合

◎内外食料品一切
◎日本大工道具一切
◎陶磁器竹漆器類
◎刀劍類
◎宇治銘茶各種
右卸小賣仕候尚各位の御便利の爲本内地へ御注文品は何品に不限多少を論せず迅速御便利に取扱申候間多少に不拘御用仰付被下度候
晩香坡市バウエル街三三三
神戸屋
（電話二四三三）（郵函五七九）

室内清潔　眺望佳良
取扱親切
東郷ホテル
日本行汽船切符取次
シアトル市メーナード街三〇九
電話インデ一二三三
紀蒲地作次
留吉

電話架設
番號エー四〇六四
齒科醫
蒲原石雄
バウエル街二三二

海陸花蓮
物産委托問屋
食料品直輸商
神戸海岸六丁目
泉德商店
（電號 Izutokn Kobe）
米國猶鐵輸入の季節と相成り候に付大多數御送荷願度候特別の注意を以て取扱ひ可申候

高等外内
御旅館相模屋
高等外内
滝車滝船切符取扱
各種勞働口周旋
晩香坡市アレキサンダー街三一三
館主　青木米吉
（電話二七五）（郵函五九八）

廣告
清酒値段改正
▲菊正宗四斗入二拾四弗五拾仙
▲菊正宗二斗入拾貳弗五拾仙
▲菊正宗瓶詰一函拾五弗
▲富貴四斗入二拾三弗五拾仙
▲富貴二斗入拾貳弗
▲富貴一斗入六弗五拾仙
清酒の原價益々騰貴仕候に付ては今般當市清酒販賣者一同相談の上右の通り値段一定致候間此段廣告候也
晩市バウエル街一〇五
（電話二三二〇）
（郵函一三八九）
日進合資會社

●玉塲開業●
今回都合ふ依り從來の玉塲を二階に引移り申候間倍舊御光來被下度希上候
マーケット街　杉山

本人宿屋キャンプ特別供給
目方と肉のよいのは受合ひ
バウエル街二二六
牛肉店
226 Powell Street City

醫術開業
生儀今般左記の所に於て醫術獸術の診療ふ應ず
晩香坡市廣島屋旅館
醫師　岩下繁
（電話一六一七）（郵函五八〇）

バウエル街とウエストミンスター街の角青年倶樂部隣
（岡田商店二階）
醫士　田中榮之丞
（電話二八五六）（郵函八九七）

ビクトリヤ旅館
ビクトリヤ市ヘラルド街四七
本館は旅客に對して最も可親切に御待遇仕るべく且つ各種の勞働口確實に御周旋可仕候
館主　平野染吉
HOTEL VICTORIA
47 HERALD ST.
Victoria B.C.

晩香坡第一の並ふ
日本人風呂
藥湯
アレキサンダー街
五色湯

●山林賣買
●金員貸與（但し不動産の抵當を要す）
●建築材料月賦販賣
●歸化証下附請願手續
●法律事務
●對白人交渉事件
例へばソーミルに從事中若くは鐵道工事に從事中負傷したる屋主に對し損害を請求する場合の如き其他一切
永尾事務所
（電話三八八六）
パウエル街一〇三

下宿屋開業
安くして靜かで奇麗家が新しくて便利此上もなし
アレキサンダー街四〇九
松本福右衛門

薩摩屋
アレキサンダー街四〇九
松本福右衛門

ガバーメント街一三八番
ミカドバザー
日本美術雜貨
石井菊次郎

葬式一切取扱
ペンダー街三〇五
グリーンエンドシムプソン
GREENE & SIMPSON
Phone 340
305 Pender St. City.
葬儀社

▲めし　▲着物々　▲寿司折詰
▲しるこ　▲ぞうに　▲餅類品々
●そばうどん
右精々原料を吟味致し何れも多少に拘はらず御往文に應じて出前も仕り候ふ付何卒御用被仰付度奉願上候　敬白
バウエル街三五九殘屋旅館向側
電話三八二七
や　梶木店

大澤旅館
館主　大澤林林林之助
（電話九六四）

旅館は室内清潔にて取扱叮嚀に御客樣の御便利を計り可申候
旅館には玉突場の設けあり
ビクトリア市フイスカードド街五一六、五一八

今度左記の所にてエキスプレース業相始め申候間日本人諸君の御引立あらんことを奉希上候
石炭御小賣仕候間御往文次第早速御届け可申候
東カドバ街四四六
運送社
電話（三三四八）（三八八六）

はり、按腹、按摩、灸治
今般左記の處に於て右の治療開業仕り候間何卒御愛顧の程願上候
晩香坡市バウエル街二三六
林旅館内九號室
鎌倉與作

漁船、ガスリン船、其他一切の小舟製造致し候
スラブストン郵函九六
田中出造船所
Tanaka & Nakade
Boat Builder
P.O. Box 96 Steveston, B.C.

パウエル街二四七
飯田藥舗
郵函四三七

靴大安賣
修繕も迅速安價に致候
ヘスティング街一二三
グードウイン靴會社
THE GOODWIN SHOE CO.
BOOTS AND SHOES
125 HASTINGS STREET EAST

洗濯所
ドミニオン
Dominion Steam Laundry
138-140 Powell St. City.

●上等パン着荷
新鮮にして流行形
直段は安く賣ります
バウエル街二一八
日英商會
石崎常吉
宇井兵造
（電話一六〇〇）

雜報

◎魔窟探檢記（共）

醜陋なる實例（三）

▲醜類の手先は貳階のボーイ▲横濱での娼賣あり▲一時は晩市料亭の酌婦

石田が千代に關する項は前回で終結を告げたが、**魔窟探檢記**はまだ〳〵續くのだから左樣御承知を願ひたい、此項も矢張り醜陋なる實例と云ふ標題を用ひ取敢ず第二とした。事實はシー、ビー會社の**流船**に乘込で居る日本人のボーイが横濱に居る醜類の旨を受け之が手先となつて晩市との**連絡**をつけたと云ふにあるのだ。

此に横濱の醜流といふのは、石田が千代を送り出したのと同一の人間即ち例の**米山**であるが、彼は千代を送るときに猶他に三人の娼婦候補者をも送り、何れも之を流船のボーイに依托したものだ其流船といふのはターター號でボーイは**川村六郎**といふ者だ。川村は現時はなんでも**港**方面に居るとのことだが、今から三年許り以前ターター號に乘てた頃は盛に醜類と接近して前記千代他三人の娼婦も横濱の米山から頼まれたのである。

其所で今こゝに述べやうとするのは其中の一人本名は**福井れたね**名古屋生れの女で、たきやあせ、すかたらんの本場だけに幼少の頃からして既に遺憾なく娼風の感化に浴して居たものらしい一度出て**横濱**に奔り、**壽**とかいふ遊廓に身を沈めたこともあるので、昨日今日騙出しの娼婦とは違から選を異にして居る。年かあけたのか身請をされたのかは聊か詳かでないが兎に角此の女は**壽**を廢業して**吉田文次郎**といふ者の女房になり、しばらく横濱に住で居たところが、除り香ばしいことも無かつたと見へ、何か好い口はあるまいかと二人は大に考込で居たところへ恰度知合になつたのが米山で、米山はまた脱いたのでいつもの口調で言葉巧みに二人を誘ひ、女は遂に米山の貪婪他くなき淫欲の**犠牲**に供せらるゝに至つた。尤も夫婦のほうでも埒水には緣の淺くない僧であるから米山との話は存外わけが早かつたろふ。されば女が嫌であつたと云ては少しく當らない様な**連絡**をつけたと云て居た。

◎信託の内幕（十）

▲道の事實を如何せん▲狗ほど剛情を張らんか▲頭上の大鐵槌を見よ

▲松並氏もやられたり　元藩主の**散々**やられて居るのである。

松並氏が藩主を閉塞して了つた時同氏よりの貸附額四百八十六弗丈の一仙の**徴集方**を信託に依頼した他に現金で三百五十三弗の**日本送金**を信託に依頼した。事件は此の二つであつて共に金額も中々大きい。松並氏も何ごとなく信託の遣り方が怪しいと思つて居つたがヨモヤ大した間違はあるまいと思つて居る内、種々な風評を耳ふする様になつたから之れは自分も嘴着されて居るのではないか知らと氣が附いて、信託へ変沙した時は最早や遅かりせい。直ちに晩香坡へ出て直接談判せん。信託位ふ胡麻化されて堪るものかと心は矢竹氣は張り弓。と言つてロッキーの山の奥から態々晩香坡へ出ると隨分入費も嵩む事であるから、一先づ日本起業會社の安野伸太郎氏ふ**委任狀**を遣つて同氏に對信託交渉に關する一切を依托して來た。安野氏は早速取調べて見ると、日本送金は確かに十月始めに信託に於て取組んで居る。又た徴集方を依頼した仙百八十六弗三十一仙の内で尠くとも二百二十三弗八十仙は既ふ信託に於て取立てゝ居るらしい。依て早速信託へ**談判**し及ふと信託からは松並氏の貸附額の内で取立てた金は僅に九十弗である又た「送金は目下横濱照介中に付き返事の有之次第（二月五六日頃）御通知致すべく候」との返事であつたさうだが、此返事に據つて見ても信託の後暗い事が明々白々。自から白狀して居るではないか。一体確に送つたものであれば、信託では此通り送金して居るのだ是れ以上は勝手にし玉へと一言の下に跳ね附け得べきである。然るに何ぞや横濱紹介中であるから**返却**致すべく候」と云て居た。

日本信託株式會社の手を經て送金せし人にて送り先へ不着か又は同社の預金者に拂戻を得ざる等しして難澁致居らる、諸君の爲め此際拙者特其の取立方の御依頼ふ應じ候間至急御申越相成度し

大陸日報社内　山崎寧

時まで待つて呉れモー一日待つて呉れとズル〳〵ベツタリに中々確とした返答をしなかつたが、愈々昨夜の七時に所謂帳簿なるものを調べたと稱する**結果**を安野氏ふ通じて來る事となつて居つた。

◎外相訃報の訛傳

昨日の東京來電によれば小村外相逝去したりとの報一度帝都に傳はりて浮説頻々たりしが右ば全く何等の根據もなき訛傳にして大臣は昨朝の如きも大ふ健康勝れ居たりしなりと云ふ

◎萬國船主同盟

近頃英國の船主は第一回の集會を開きて國際上の船主組合を組織せんと計りし由にて會議は英國ニウ、カッスルに開かれ出席者が代表したる各噸數は價額五千万弗以上に達したりと云ふウォルター、ランシマン議長席ふ着き組合組織と共に一方斯業の發達を期し噸數の供給等も貨物積込の需要と均衡を得るやう專心之が開發を計るべく其他同濟業經營の上に重要の事項を取決めん方針なること發表されしが以上何れも委員に附托されて散會せりと

◎ペンチユア失火後報

スキーナ河インバネス、キャナリー棧橋にて同船失火したることは取敢へず報道し置きしが今其詳細を聞くに同船はヂエー、エチ、トッド、エンド、ソン宛の鮭五千函を同キャナリーにて積込みし許りの時ふ失火したるものにて猶此他にナース、リバーより積送したる二千函の鮭もありしなりと云ふが僅かふ船復の下層と機械少々とを殘して全燒の厄に遇ひ失火當時旅客五十名と乘組員は何れも船中にありしが幸ひに難を陸上に避けたるも出火の原因に就ては今以て確知し難く唯燃燒の速度は如何にも急激ふして見る間に船は火煙に包まれしと云ふ鎮火到底困難と見るや船ふ直ちに纜を切離され之れ其儘漂流してドミニヨン、キャナリーを過ぎ遠かに一哩も流され遂に岸ふ乘揚げたるが一時はドミニヨン、キャナリーも危火を受くる所なりしとか因みに同船は會社ふ據附くるものにして五年前に晩市のペンチユア流船會社よりポスコウイッ、流船會社の買受けしものふて機關は何れも當市ふて造られしも現在所有主の手に移ちや流鑑其他の機械一切英國より購入したるなり價格は約七萬五千弗但し保險は五万弗だけ附しありしと云ふ船長はチー、グルデング氏にして乘組員は二十三名ありしと再造費何は未定なるも當分はグアゾー號之に代りて使用さるべしとなり

◎死人同樣の日本人

二週間ばかり以前に或る白人獵師スワンソンペイ附近の或る嶋に死人同樣の日本人居るを發見したれば早速之を引連れべラべラの相川之賀氏方まで伴ひ來りて同氏ふ引渡したるが其日本人は既に飲け聞も絶食し居たるものらしく且つ兩足とも凍傷して歩行すら出來ず其上

御禮廣告

昨夜失火の節は早速御見舞被下御厚情萬謝候當時折悪しく不在中にて一方ならず御近所を騒が申候段申譯なく就ては一々參堂致すべきの所混雜中暮儀ながら紙上を以て謝辞申述候　頓首

一月廿八日　ハウエル街五四六　**檜垣勝之進**

◎死人同樣の日本人

二週間ばかり以前に或る白人獵師スワンソンペイ附近の或る嶋に死人同樣の日本人居るを發見したれば早速之を引連れべラべラの相川之賀氏方まで伴ひ來りて同氏ふ引渡したるが其日本人は既に飲け聞も絶食し居たるものらしく且つ兩足とも凍傷して歩行すら出來ず其上

◎北方の寒氣

例年北部地方が冬期酷寒を告ぐるは普通なれども今其情報に接したれば少しく紹介せんにスワンソンペイふては積雪六呎に達し泛り制地向ひの山嶺きの方は三三十呎ふも達し居らんとのことにてプリンス、ルパートは之に引かへ颶風吹荒みて雪も吹拂はるゝ有狀なりとか過去六週間ポートランド、キャナルは常に暴風吹通しにて船員連中の難儀なる近年に比なき險惡の天候なりと云ふ猶またナースリバーなるミルベイキャナリーの番人某はクリスマスに際しナースリバー、キャナリーに遊びふ出かけしまゝ酷寒の爲ふ今猶歸るを得ずとか附近人家は無論用水結氷し居りて止むなく氷を解かして用ふるは例年の繰りながら二日間に積雪五呎に達したりと又た先月二十八日には白川某他二名の者ミルベイ、キャナリーを出で正月の料理ふ用ひんとて川上の温泉彷の草原ふ鴨、鴫などを打ちに行きしに俄然其夜より寒氣厳しくなり結氷ふ加へて北風の爲ふボートは出す二十九日三十日も斯くして打續き食料も断れて困難一居りしが幸ふして迎ひの者ふ邂逅するを得て三日の夜に歸り來りし程なりと云ふ

◎インダヤ號の出帆

同號は本日午后一時半愈々東洋へ向け當港を出帆せり

◎インダヤ號の同船客

同號にて歸朝の途に就きしは横濱正金倫敦支店長西谷豊佐久氏、是水商會の水松坦太郎氏外四名なりき

◎檜垣床のボヤ

昨夜九時頃之見に行きたる後にて檜垣床より失火したるも早速近隣の同胞駆け附け鎮火したれば幸にして大事に至らざりしと

◎白人獵師氏の消息

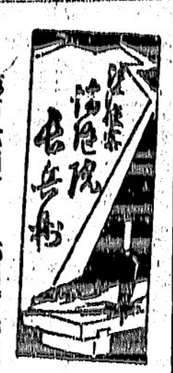
去る十五日雪降り間俄古に赴きし同氏は列車遭難の爲ムースジョウふ於ける逗留を失し同地に空しく一週夜を過し二十一日朝センドボールを經て市俄古へ安着せし旨米氏のもとふまで通知ありたりと

◎勢働首領の誕生日

米國勢働黨の首領として名を知られ猶先頃年ハ歳の宜告を受けしサミュエルゴムパースは昨日第五十九回の誕生日を祝したりと云ふ

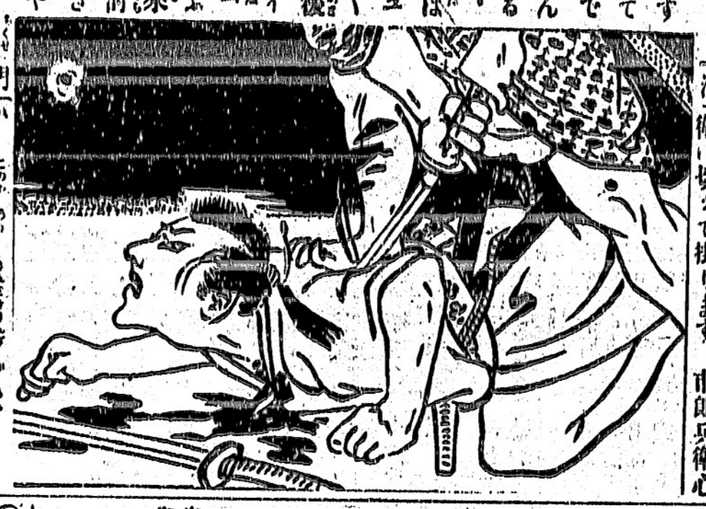
◎新貨率實施期

例のシー、ビー、ピー、ケイ、ケイ、ケイ



（第百七四）　桃川實講演

熊いたのは折助でございます　仲』どうかた助けて下せえ』と云ふ中に　權『遣ねえ此奴を遣しちやア面倒だ』と忽ち野郎ン縛ッちまッた、自分の三尺で縛られたのは隣い目ふ合つたもの、溝の中へ抛り込まれて働くことが出來ない、其中に提灯を持つて唐犬權兵衛再び門の所へ飯つて來た　權『門番さんく　門番』『ナンだ　權』とんだことをしました、近藤樣へ使ひに行く狀箱を忘れて來たんだ、何うか一寸開けてた呉んなせね　門番『治助が何て仰粗忽なことをするんだ肝腎の狀箱を忘れて何うするんだ』權『途中まで出てから氣が注きましたんで』人見を少し開けて見ると澤潟の紋の付いた提灯、目印でございますから疑は見ないで提灯丈け見てギユーと門を開けるとドロく　と這入ッて來た六人　權『後を閉めて置け　門』へエーイ　權『大きな聲をするナ、聲を立てると叩ッ切ッて了ふぞ、手前達の命を取りに來たんぢやアねえ親分の仇討に來たんだ　門』左樣でございますか、能く入らッしやいました　權『振えるナコノ畜生門』『振ねるんぢやア御座いません、身体が細かく動くんで』有合した細引で門番を縛つて了ふ　門『何うかた助けなすッて　權『助けて遣るんだ』助けてやるッて縛る奴があるもんか　權『手前が逃げでもすると面倒だから縛つて置くんだ、暫くの間辛抱しろ　金神『オ、權三門の締りを厳重ふしてたけ『合點だ』と云ふと六人のものが一刀をズラリく　と引抜いて玄關指して乘込んで來りました樣子、早くも此物音が聞ねましたものだから金時金左衛門、渡邊綱右衛門始め有竹竹右衛門杯と申す皆武藏一通り出來まする人物　金『御前、長兵衛の若いものが乘込みましてございます、御油斷があつては相成りません　十『オ、さうか』チャンと自分ふ於ても樽十字に綾なしたるこにして槍を捻つてそれへ飛出した、北時唐犬權兵衛大音を擧げたることにして　權『コレ東佳來樣ことにした　權『コレ東佳來樣棟な小ッ旗本、たつた一人の長兵衛を大勢寄ッて殺したナ、親分は承知で屋敷へ死に來たんだ、元締さんの仇討は我々共六人でするんだ、サア尋常に首を渡せと』唐犬權兵衛は眞先に立つて長刀を振上たる樣子　十郎『下郎の分際として旗本水野十郎左衛門の屋敷へ斬込むとは身の程を知らぬ蛆虫、金左衛門　金『コ、ゐ居りまする』と金左衛門一刀を引抜いて夢の市郎兵衛に切ッて掛ります、市郎兵衛心得『此野郎、金時金左衛門もねえもんだ、一盃々々の金時が聞いて呆れらア』二打三打合つた金時は中々の腕前で御座います白鬼權三が後ろふ廻ッて　權『此野郎手間取つちやア面倒だ』と後ろから金左衛門に斬つて掛つた、渡邊綱右衛門は金神の長五郎の爲めに討たれ水野の家來十七名以上の者が其處へ斬つて出でましたが切合は重服に渡りますから略します、中で九人を斬りました、十郎左衛門は唐犬權兵衛と夢の市郎兵衛二人を相手にして居る其間ふ唐犬權兵衛が斬つて下したる一刀、水野の持つてる槍を半ばより切折れました



洗濯業
從來よりも一層改良方法を用ひ迅速叮嚀に御用相辨じ申候
大倉洗濯所　ウエストミンスター街二八

日加運送社
パウエル街二一三
「電話　三九七」

そうどしばん
すそわ
パウエル街二三七
（電話二九一四）

センチュリー旅館
室内清潔
取扱叮嚀
尚は部屋賃、食事付御宿泊何れも御需に應ず可候
クランブルック停車場前
植松龜吉
（郵函一〇四　電話一一九）

南京御料理並そば
料理は市内一等の美味
蕎麥は充分ふ材料精選
多人數宴會は特別勉强
場所は南京町停車場前
室内手廣にして最清潔
日本人諸君は常に歡迎
東ベンダー街二三二階
宴新樓

最新流行品新荷到着
假移轉　東カドバ街一七〇　モントレール銀行の隣
時季に遲れざるは弊店の特色
田鍋洋服店

K. TERAKURA
307 Powell St., Vancouver B. C
私儀永らく事業に御愛顧の處今度御配の處あて獨立裁縫店を相始め申候間
何ほ當分の内開業記念の印まで御勉强の爲め
田鍋洋服店に裁縫業に從ひ左の御勉めに從ひ左の通り
裁縫、せんた
大割引
に應じ申候
大勉強
寺倉三桂
バンクーバー市ウエストミンスター街二〇三
内床川中七

鮭網、ヘリン網、曳網、テント、帆木綿、漁具一切及び上等の革製又はラバーブーツ格安に賣捌申候
ウォーター街六八「電話二四二」
イーリプセット
E. LIPSETT 68 Water St.

○婦人子供衣服
○同附屬品
○ボンネット
○きれ地各種
其他日本御婦人向きの品種々取揃へ有之候間御一覽の上多少に拘らず御買上げの程願上度候
舊ドラスデール跡
スペンサー
David Spencer & Co.
Hastings St., W. City

◎うどん
◎そば
ウエストミンスター街三六
梅枝

廣告
御めし
うどん
そば
志のだ
志津ぼく
たゞ卷むし
其他種々御好みに應じ調製仕候
パウエル街二六四
元前川商店跡
電話四三九八
万

日記帳
大小又は稲々の雛形澤山あり代價五仙より革表裝五十仙
千九百九年度用の何でもあること市内唯一安いこと西部唯一
ヘスティング街三二五
タムソン書籍店

宿屋室内清潔
和洋雜貨食料品
晩香坡市東カドバ街一五一
紀の國屋
（電話六八三番）
（郵函五一〇番）

吳服及家具類一切
（直段極々）
日本人方の御來店を待つ
グランビル五七五電話三四一
ゴールドン
ドライスデル
Gordon Drysdale ltd
575 Granville St. City.

日本米販賣
◎貨物仕候
◎味噌醤油卸し賣
日本米御賣求めの節は「ニス」印に御注目被下度御一報次第迅速に御届け可申上候
日加精米所
晩市アレキサンダー街四七四　電話（三五六九）
特主　酒井鶴之助

獨立旅館
各勞働者
受負事務所
バウエル街四四一番地
館主
内田千代七
バウエル街四三九番地
郵函五七五、電話六〇
高等旅館
室内清潔
筑豐館
本館の特色
室内清潔、眺望絶佳、アレキサンダー街三〇〇
館主
宮崎彦市
でんわ二七二三

美味の日本米御望みの御方は一スター一印に御注意の下最寄の商店にて御買求め被下度候
晩香坡ハリス街二四九
日本精米所
特主　根來勝之助
醤油卸賣
醤油卸賣
「電話二五四〇」郵函（八四九）

大勉强寫眞
ウエストミンスター街二百二十八番
有門寫眞館
Y. ARIKADO STUDIO.
228 Westminster Ave
Vancouver B. C

廣告
寶石細工の御注文に應ず
懷中時計掛時計
寶石類
銀器類
眼鏡類
等の御小賣

水パイプ、流し取付け
又は設計等すべて下水まわりの仕事は早く安く致します
から何卒御用仰付けられ度候
東ヘスティング街二三九
ブラウン
「電話七七〇」
W. A. BROWN
239 Hastings St. City.

G. G. Begger
四（スティング街一四三
ビーガー
Hastings St. W. City

寫眞
安いと變色せざるは當店の特色なり
カドバとカーロルの角（オイシスペイの二階）
エー、ナグアード
A SAVARD
Cor. Cordova & Carroll Sts

○各種勞働口周旋
○汽車汽船切符販賣
旅館清潔丁寧
でんわビー二四八四
松本旅館
バウエル街二三五

見よ……見よ
ブランゲット、上衣、帽子其他婦及男女服の大安賣仕候間新品として銀製のカップ、皿、フォーク、ナイフ等進上申候間の御來店を待入候
晩市カドバ街一七〇
日本人諸君
キャンビーの角
スターク
グラスゴ
ハウス
Stark's Glasgow House

◎シアトル通ひ汽船
御用イーバンス株出帆
切符一手販賣所
ウエストミンスター街二三八
電話三〇二四
土木受負株式會社

杏花樓
本樓はカロル街五三三にて南京料理及そば類を營業致し室内清潔にして花は電燈にて金の如くし御客樣ひの叮嚀と美味あて安いことは市内隨一なり
春花樓

極上
日本米販賣
◎貨物仕候
◎味噌醤油卸し賣
日本米御賣求めの節は「ニス」印に御注目被下度御一報次第迅速に御届け可申上候
日加精米所
晩市アレキサンダー街四七四　電話（三五六九）
特主　酒井鶴之助

和洋雜貨食料品一切
エキスプレス
晩香坡市バウエル街二百十三番地
松宮商店
でんわ三五九七

廣嶋屋旅館
鐵道、材木其他勞働周旋
ソーミル其他勞働周旋
食料品販賣
日本行郵船切符取次
其他貨車御便利計り可申候
麹販賣仕候
英領加拿陀バンクーバー市アレキサンダー街二三〇
佐藤茂平
電わ一六一七番（郵便函五八〇番）

W. OYA
P.O. Box 82 Vancouver B. C
和洋食料品一切
其の他雜貨類
晩香坡市バウエル街四五七
電話二四三五
大屋商店

常に澤山の品物を所有するは本店にてロサイスター、キャンベル、ラ、コ、パーレッス等諸會社製造のガソリン、エンジン一手販賣致し候
御注文又は直し等最も迅速に求めに可應候
ジョージア街（ビッドウエルとグランビルの中間）
エーレベージ
グランビル
「電話三三四」

●和洋雜貨食料品御し賣
●絹布類化粧品一切
●かまぼこ製造販賣
晩香坡市バウエル街三六九
前川商店
（電話三七二、郵函一三〇三）

旭屋旅館
當館は萬事親切を旨とし各種勞働口の周施汽船汽車切符の取次可仕候
バウエル街二七〇
谷口熊太郎
郵函八八五
でんわ二〇六七

廣告
本紙一枚五仙
一ケ月三十五仙
定價一ケ月壹弗五拾仙
一ケ年壹弗
（郵券代用一割增但一切前金の事）
廣告料
一行三箇以内拾仙
一行一週間同貳拾仙
臨時廣告
一ケ月乃至三ケ月一吋參弗
三ケ月乃至六ケ月一吋二弗
六ケ月以上一吋壹弗五拾仙
普通廣告
一ケ年一吋壹弗
（但し特別廣告は普通の倍額とす）
郵便加奈陀領事館バンクーバー市ビーター街二十四番
郵函五〇　電話三〇五一三〇二四
發行兼編輯人　山崎寧

The Continental News
Published Daily Except Sunday
124 Gore Ave. Vancouver, B.C.
P.O. Box 550 Phone 3065 3024
Published by Yasushi Yamazaki